

平成24年度日本小児外科学会
第6回定例理事会議事録

日 時：2013年4月19日（金） 11：00～16：00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：田口智章（理事長）、仁尾正記（副理事長）、上野 滋（前会長）、岩中 督（理事・会長）、濱田吉則（理事・副会長）、葦澤融司、前田貢作、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡（以上理事）、窪田昭男、橋本 俊、土岐 彰（以上監事）、小室広昭（庶務委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、吉澤穰治（財務会計委員長）、渡井 有（財務会計副委員長）、家入里志、杉山正彦（以上庶務委員）、村上 聡、堀口裕輔（以上事務局）

議 事：

1. 第6回定例理事会の議事録署名人は、葦澤融司 理事、松藤 凡 理事とした。
2. 平成24年度第5回定例理事会議事録につき、仁尾副理事長より議事3-2) の議事名を「総合調整委員会報告」へ訂正、および「日本周産期・新生児医学会専門医制度については認定外科医ということ」へ訂正する指摘があり、当該訂正を含めて全会一致にて承認された。

3. 報告事項

田口理事長より以下の報告があり、了承された。

1) 理事長報告（田口理事長）

- (1) 日本医学会からのDVD「第14回日本医学会公開フォーラム」および「第143回日本医学会シンポジウム」を受領した。
- (2) 大阪市立大学第2外科 末廣茂文先生からの通信文「市民公開講座実施報告書」を受領し内容を了承した。
- (3) 日本臨床検査医学会からの寄贈本「臨床検査のガイドライン JSLM2012」を受領した。
- (4) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo. 153～154」を受領した。
- (5) 日本医療機器産業連合会からの寄贈本「医機連ニュース第80号」を受領した。
- (6) 厚生労働省医薬食品局からの冊子「医薬品医療機器等安全性情報 No. 298～300」を受領した。
- (7) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol. 43No. 2～4」を受領した。
- (8) 日本医学会からの通信文「第29回日本医学会総会2015関西の案内」を受領した。
- (9) がんの子どもを守る会からの通信文「第17回シンポジウム事業終了報告/収支決算書」を受領した。
- (10) 「戦争と医の倫理」検証を進める会からの寄贈本「パネル集戦争と医の倫理」を受領した。
- (11) 日本小児科医会からの寄贈本「小児科医会会報第44号/医会ニュース No. 55」を受領した。
- (12) 日本専門医制評価・認定機構からの「平成24年度第2回社員総会資料」を受領した。
- (13) 日本医学会からのポスター「第15回公開フォーラムの開催について」を受領した。

- (14) 難病のこども支援全国ネットワークからの冊子「がんばれ Vol. 137&臨時増刊号」を受領した。
- (15) 厚生労働省医薬食品局からのポスター「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について」を受領した。
- (16) 日本医師会からの寄贈本「JMAJ Vol. 55-5」を受領した。
- (17) 日本医学会からの通信文「平成 24 年度新規加盟学会」を受領し、了承した。
- (18) 日本救急医学会からの挨拶状「代表理事退任と就任のご挨拶」を受領した。
- (19) 医学中央雑誌刊行会からの寄贈本「医学中央雑誌収載誌目録」を受領した。
- (20) 日本医学会からの通信文「日本医学会利益相反委員会報告」を受領した。
- (21) 臓器移植中央調整委員会からの挨拶状「事務所移転の連絡」を受領した。
- (22) 日本医療機器産業連合会からの寄贈本「METIS からの提言 2013」を受領した。
- (23) がんの子どもを守る会からの通信文「平成 25 年度年次大会 後援名義使用許諾依頼を受領し、検討の結果、承諾することとなった
- (24) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌第 40 巻第 1 号」を受領した。
- (25) 外科関連専門医制度委員会からの通信文「第 51 回総会議事録」及び「第 52 回総会議事録」について、仁尾副理事長および前田理事より、資料に基づいて報告され、了承された。
- (26) 日本外科学会からの通信文「定期学術集会の開催日程のお知らせ」を受領した。
- (27) 日本小児科学会第 2 回小児慢性疾患委員会の資料と分科会での検討のお願いについて、田口理事長より、説明があり、審議の結果、5 項目の質問のうち質問 1~3 については「概ね賛成」とし、質問 5 は「おおよそ（不明）パターン必要、胆道系は 1 つで十分。できるだけ少ないパターンが望ましい。」とした。また、質問 4 については以下の通り回答することとした。

疾患群	主担当(◎)	副担当(○)	必要に応じて担当(△)
悪性新生物		○固形がん	
慢性腎疾患			△閉塞性尿路疾患、VUR
慢性心疾患			
慢性呼吸器疾患		○気管狭窄	
内分泌疾患			
膠原病			
糖尿病			
先天代謝異常			△肝移植対象症例
血友病等血液（・免疫）疾患			
（血友病等血液・）免疫疾患			
神経・筋疾患			
慢性消化器疾患	◎胆道閉鎖、先天性胆道拡張症	○門脈圧亢進症、その他	

2) 総合調整委員会報告（仁尾委員長）

仁尾委員長より、資料を基に、以下説明があり、了承された。

- ・ 教育関連施設に小児外科専門医設置を義務化する件につき、現在専門医が全くいない5施設に、専門医を設置するために必要な年数を調査したところ、おおよそ3年間という回答であり、実際の運用については継続審議事項となった。
- ・ 全国の医育機関を対象に行う小児外科卒前教育アンケート内容について、内容が確認され、1月中に発送し2月末を締切として行った。
- ・ 2013年度の専門医・指導医新規申請と2012年度の年次報告についてNCDデータを使用開始となるお知らせがホームページと次号学会誌に掲載されることとなった。
- ・ 専門医・指導医更新については、現在のところ、認定期間が2012年3月31日まで、および2013年3月31日までの者を対象に更新申請延長中（認定期間も同期間延長）である。今後の申請期限および認定開始日は外科専門医と同期させていくために毎年8月31日までに申請し、申請の翌年1月1日から認定開始とする予定である。そのため、現在の専門医・指導医全員の認定期間を9カ月間延長し、当該延長期間中に更新申請できるようにすることが提案され、承認された。なお、前述の更新延長対象者についてもさらに9カ月認定延長されることとなった。
- ・ 日本周産期・新生児医学会の専門医制度については、「認定医」ということで開始するためのワーキンググループが設置され、検討が開始されていくこととなった。
- ・ 2013年開催予定の近畿地方会市民公開講座につき、開催補助金の申請があり、支給対象となるか検討され、承認された。また、今後の地方会における市民公開講座補助金援助が無くなることについて各会次期会長へ事務局より連絡することとなった。

3) 健やか親子21推進協議会報告（北川理事）

北川理事より、資料を基に、報告があり了承された。なお、健やか親子21推進協議会の活動が2015年までの時限付のものであるので、日本小児外科学会としては今後も積極的に活動していきたい旨、申し添えられた。

4) 第18回臓器移植関連学会協議会報告（北川理事）

代理出席に伴い北川理事より、資料を基に、報告があり了承された。

4 審議事項

1) 第49回学術集会について（上野前会長）

上野前会長より、第49回学術集会「内と外を見つめなおす」をパシフィコ横浜アネックスホールおよびワークピア横浜にて開催し、参加者数および決算が報告された。

参加者数(のべ 1319 名)

- | | | |
|---------------|-------|--------------|
| (1) 学術集会 参加者 | 957 名 | (うち海外演者 10名) |
| (2) サテライトセミナー | 58 名 | |
| (3) 内視鏡手術セミナー | 73 名 | |
| (4) 卒後教育セミナー | 115 名 | |
| (5) 市民公開講座 | 116 名 | |

2) 第50回学術集会について（岩中会長）

岩中会長および杉山委員より、資料を基に、スケジュールおよびプログラム内容の説明があり、承認された。なお、各種委員会について早朝会議の場合、朝食が付かない旨、申し添えられた。

	午前	午後	夜
5月29日	理事会	評議員会 記念式典 WOFAPS 理事会など	記念祝賀会
5月30日	記念座談会 (The Role of Scientific Journal in Pediatric Surgery) シンポジウムなど	理事長講演 会長講演 招待講演 一般演題 (ポスター含む)	
5月31日	教育講演 シンポジウムなど International Session 一般演題	特別講演 教育講演 シンポジウムなど International Session 一般演題 (ポスター含む) 倫理セミナー	会員懇親会
6月1日	教育講演 シンポジウムなど International Session 一般演題	特別講演 シンポジウムなど 一般演題 (ポスター含む) 国際協力セッション	内視鏡セミナー 卒後教育セミナー
6月2日	卒後教育セミナー	卒後教育セミナー	

PALSは前週末に東機質にて開催予定 (参加者数によっては開催しない場合もある)

6月2日の卒後教育セミナーはNSビルにて開催予定

市民公開講座は開催しない

会長招宴は120～130名程度の規模 5月30日夜

招待者：名誉会員・特別会員、理事・監事、会長経験者、海外招待者

3) 第51回学術集会について (濱田副会長)

濱田副会長より、プログラム案が資料に基づき、説明され、引き続き検討していくこととなった。また、次号機関紙に掲載する第1次会告案も報告され、承認された。

会期 2014年5月8日(木)～10(土)

会場 大阪国際会議場

主題 小さな命への新たな一歩 Next First Step for Sick Children

4) 第29回秋季シンポジウムについて (葦澤会長)

葦澤会長より、準備状況およびホームページ開設が報告され、了承された。

会期 2013年10月26日(土)

会場 一橋大学一橋講堂 (学術総合センター内)

主題 小児救急医療—外傷・虐待—

演題募集 2013年6月3日(月)～7月5日(金)

5) 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、承認された。

2012年12月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,936名（うち海外4名）、評議員289名、名誉会員54名（うち海外9名）、特別会員62名（うち海外1名）の合計2,341名である。

6) 財務会計委員会（吉澤財務会計委員長）

吉澤委員長より資料に基づき、以下の通り報告され、承認された。

- ・2012年度決算案（暫定）につき、報告され了承された。
- ・2013年度予算書案について、審議の結果、50周年記念事業収支の科目を設定し、学術集会収支と分離することが提案され、50周年事業収支見積について再検討の上、継続審議事項とされた。
- ・機関誌（紙媒体）寄贈について、審議の結果、海外の寄贈先には on line journal 化した通知を送付し、その上で紙媒体が必要（有料）かどうか、問合せをすることとした。
- ・機関誌在庫の保管につき、審議の結果、直近5年間については各50部、直近6年前から8年前については各30部、それ以前は各10部ずつ保管していくこととした。
- ・機関誌の on line journal 化に伴うカラーの図・写真の無料化と別刷の有料化について、開始時期を検討の結果、2013年4月20日以降に採択されたものから適用することとなった。

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 国際・広報委員会報告

田口理事長より資料に基づき、以下の通り報告され、承認された。

- ・ホームページリニューアルにつき、現在コンテンツの移行作業中であり、学術集会前に新サイトを配信できるように進めている。
- ・現在のコンテンツに情報が古いため、移行不要なものがあるので、各担当委員会にて検討するよう依頼された。

(2) 機関誌委員会報告

北川担当理事より、資料に基づき、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・2012年度の優秀論文について以下の2編とする。
原著論文：大橋研介，他：超低出生体重児に対する” Sutureless Enterostomy” . 48(4)：716 - 721
症例報告：渡辺栄一郎，他：Transcatheter Arterial Embolization にて救命しえた胃十二指腸仮性動脈瘤破裂を伴った十二指腸潰瘍出血の1例. 48(6)：970 - 974
- ・投稿規定変更
(旧) 著者数は共著者を含め10名以内とします。所属機関が複数の場合は*、**で分類

して下さい

(新) 著者数は共著者を含め 10 名以内とします。所属機関が複数の場合は^{1, 2}で分類して下さい

(旧) 表紙から文献までは 20×20 字/1 頁とし

(新) 表紙から文献までは 32 字×25 行/1 頁とし

(旧) 別冊は 30 部までを無料としますが、30 部をこえる分は実費となります。

(新) 別冊は実費となります。

(旧) Thirty reprints of each paper are supplied free of charge. Additional reprints are available at cost.

(新) Reprints of each paper are available at cost.

- ・名誉会員 C. Everett Koop 先生の追悼文は、検討の結果、執筆しないこととなった。評議員堀本 洋先生（静岡県立こども病院）の追悼文は、長谷川史郎先生に執筆依頼することとなった。

(3) 保険診療委員会

窪田担当理事より資料に基づき、以下の通り報告され、承認された。

・平成 26 年度診療報酬改定要望の修正

1) 新設 1 位の「処置における小児加算」の項目について「ストーマ処置 (J043-3)」を除いた 7 項目に修正

改定 5 位に「ストーマ処置料 小児加算」を追加

要望内容：ストーマ処置 (J043-3) に対して、6 歳未満 100 点の小児加算を要望

(日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会と共同提案、日本小児外科学会は「副」として提出)

これは、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会から「ストーマ処置料 小児加算」の要望が提出されていたが、要望点数が異なるため調整をおこなった。

2) 新設 4 位の「腹腔鏡手術の一括採用」

胃瘻造設術 (腹腔鏡下)、胃捻転症手術 (腹腔鏡下) の 2 術式に

外保連手術委員会で、総胆管拡張症手術 (腹腔鏡下)、腸重積症整復術 (腹腔鏡下) は技術度 D の術式として新規に認められたが、一般的術式 (半数近くの施設ですで行われている術式という意味) とは認められず、腹腔鏡手術の一括採用術式から除外された。

このため、新たに小児外科から要望するには新規術式として申請要望枠を各 1 つずつ用いて要望しなければならない、日本小児外科学会の新規要望は 8 項目すべてを使っているため、次回以降の要望となった。

【新設】 8 項目

1 位：小児の深鎮静

2 位：処置における小児加算

創傷処置 (J000)、熱傷処置 (J001)、リンパ管腫局所注入 (J017-2)、高位浣腸、高圧

浣腸、洗腸（J022）、ストーマ処置（J043-3）、救命のための気管内挿管（J044）、留置カテーテル設置（J063）、導尿（J064）に対して、3歳未満100点、6歳未満50点の小児加算を要望

3位：「EDチューブ挿入固定」の新設（処置）

4位：腹腔鏡手術の一括採用

- ・胃瘻造設術（腹腔鏡下）・総胆管拡張症手術（腹腔鏡下）・腸重積症整復術（腹腔鏡下）
- ・胃捻転症手術（腹腔鏡下）

5位：「経皮的卵巣嚢腫内容排除」の新設

6位：「臍ヘルニアの圧迫療法」の新設

7位：「短期滞在手術基本料（日帰りの場合、小児全身麻酔の場合）」の新設

8位：先天性食道閉鎖根治手術（胸腔鏡下）

【改正】4項目

1位：小児科療養指導料の算定疾患の拡大 2位：胃・食道内24時間pH測定

3位：手術通則14の改正

4位：組織試験採取、切採法 直腸(D417 10)

【特定保険医療材料料】なし

- ・外保連手術委員会に5つの新規術式を要望、了承された。

保険診療委員の施設および、以下の施設に協力していただき、日本小児外科学会が主学会である外保連試案69術式と今後新規術式として申請を行う可能性がある14術式について、合計401件の医材料調査をおこなった。

このデータを基に、胃瘻造設術（腹腔鏡下）、胃捻転症手術（腹腔鏡下）、総胆管拡張症手術（腹腔鏡下）、腸重積症整復術（腹腔鏡下）、先天性食道閉鎖根治手術（胸腔鏡下）の5術式を外保連試案新規術式として申請、受理された。

また、外保連手術試案に登録されている術式では50例の医材料調査（前回調査では数が不足と指摘）の要請があり、これらデータを集計し、外保連に提出した。

- ・外保連：内視鏡における適正な診療報酬に関するワーキンググループが発足

座長：藤城光弘先生（日本消化器内視鏡学会）

副座長：高橋典明先生（日本呼吸器内視鏡学会）

今後、外保連手術試案と同じようにすべての手技について、技術度、所要時間、材料費などを再調査する予定とのこと。

委員に小高明雄先生（現在保険診療副委員長、外保連手術委員）を推薦

- ・外保連：生体検査コーディングワーキンググループが発足

座長：土田敬明検査副委員長（日本レーザー医学会、日本呼吸器内視鏡学会）

目的：検査術式のコード化をおこなうこと

委員に大橋祐介先生（現在外保連検査委員）を推薦

（4）教育委員会報告

松藤担当理事より資料に基づき、以下の報告、提案があり、承認された。

- ・第29回卒後教育セミナーおよび内視鏡手術セミナーのプログラムが確認された。

- ・小児外科卒前教育アンケート調査（調査対象：全国の大学医学部、医学系大学）を行い、集計結果が資料に基づいて報告され、承認された。

（5）悪性腫瘍委員会報告

前田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・2011年次登録調査は集計が終了し、機関誌49巻1号に掲載された。
- ・追跡調査（2001-2005登録症例）の集計、分析について学会誌49巻5号に掲載を予定しており、原稿の最終締め切りが6月初旬となっている。4月22日までにメーリングリストでメンバーに原稿を配布し、解析担当委員は最終版を作成し、5月7日までに委員長へメールにて送付とする。委員長が取りまとめ、次回第50回日本小児外科学会学術集会会期中の委員会で最終審議し完成とする。

（6）学術・先進医療検討委員会報告

濱田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・第49回演題集612題をホームページに掲載した。
- ・ビデオライブラリーについては、2010-2012年度の優秀ビデオ全30作品が公開されている。
- ・2012年度科研費採択結果の集計について145施設からのアンケート回答をし、委員会内審議を終了しホームページに掲載を依頼した。
- ・ホームページ学術・先進医療検討委員会の改訂については以下の通りとする。

1. 学術集会演題集

学会雑誌の電子ジャーナル化およびこれまでの学会雑誌がホームページから検索できるようになっていることから、学術演題集作成の役割は済んだと考えられ、第50回から演題集の作成は行わないこととする。これまでの演題集はホームページに残す。

2. 学術ガイドラインリンク集

5年以上の古いものは削除する。必要なガイドラインで作成中のものは作成中と明記する。現在、掲載に必要な許可を各学会、研究会に依頼中である。

3. 先進医療報告

ホームページから削除はしない。5年以上経過している報告に関しては新しく改訂していく。

4. 学術アンケート結果

5年以上経過したものは削除していく。現在ホームページに掲載されている腹壁破裂のアンケートはかなり古いため削除する。

5. ビデオ

手術動画配信のボタンがトップページにあるので、ID、PWなどを入れないと閲覧できない。会員ページ内に置くなど変更してほしい。古いビデオリストは貸出依頼もなく入手困難のため削除する。

- ・超低出生体重児における消化管穿孔の実態調査について
第1回目の調査は新生児栄養フォーラムと共同で2003年から2007年までの5年間の集計を行った。継続の希望が窪田昭男先生からもあり、5年が経過したため第2回目の調査を2008年から2012年までの5年間を対象に集計する。アンケートの内容は佐藤委員と安福委員が担当する。10月の第43回日本小児外科代謝研究会で結果を報告することを検討している。

(7) 倫理安全管理委員会報告

菑澤担当理事より、以下の通り報告、提案され、承認された。

- ・学会ホームページに「Facebook等の利用における個人情報の取扱いについて」として個人情報の取り扱いに注意を喚起するメッセージを掲載したことが報告された。
- ・第50回学術集会での倫理安全管理講習会の講師が東北大学大学院法学研究科 水野紀子先生による「日本における児童虐待への法的対応とその問題点」となったことが報告され了承された。
- ・日本医療安全調査機構から評価委員候補者リストの作成依頼があったが、次期執行部による人選とすることが了承された。

(8) 小児救急検討委員会報告

松藤担当理事より、以下の通り報告、提案され、承認された。

- ・第3回小児救急セミナーのプログラム案が資料を基に報告され、承認された。
ただし、第3回小児救急セミナーの開催チラシを抄録集に同梱する案については、費用が発生すること等より、同梱しないこととなった。
- ・小児救急セミナーを今後、学会事業として開催していくかどうかについては継続審議事項となった。
- ・2013年度PALSについては、参加者数定員に達しない可能性が高いため、申込締切時点の参加者申込数によって開催の有無を検討することとなった。

(9) データベース委員会

前田担当理事より、以下の通り報告され、承認された。

- ・NCDより2011年度分のアニュアルレポートの改訂が報告され、前回のレポートの乖離があまりにも大きいため、その原因をNCDへ改めて確認することとなった。
- ・専門医制度申請のオンラインシステムが稼働開始となったが、すぐに不具合が見つかり、一部の機能は使用できない状態となった。そのため、専門医、指導医の新規申請の期限を4月30日まで延長とした。

(10) ワークライフバランス検討委員会

窪田理事より、全会員向けアンケートおよび認定施設代表者向けアンケートの集計結果としては、4点が挙げられる旨、報告され、承認された。なお、今後の委員会活動

の継続については、次期執行部における審議事項となった。

1. 妊娠・出産・育児・介護などの必要な時期の勤務体制の多様化を認めること
2. 出産・育児・介護休暇後、時間短縮後フルタイムに戻れる体制作り・意識改革
3. 支援を受ける側として、キャリア継続を諦めず、臨床に戻る意志
4. 施設を集約化して、一施設毎の小児外科医の人数を増やし、各小児外科医の過重労働を減らさないと実現困難

8) 選挙管理委員会報告（小室選挙管理委員会委員長）

小室選挙管理委員会委員長より、以下の通り報告され、承認された。

3月8日（金）に第3回選挙管理委員会を開催し、選挙管理委員会立ち会いのもと、開票を行った。

有権者数 2,077 名、投票総数 1,788 票、開票総数 1,788 票、有効投票数 1,788 票となり、開票結果は当選者 313 名、落選者 46 名となった。

なお、被選挙人の資格について、実際に小児外科を行っている先生が選ばれことが望ましい、との意見があり、今後の課題として検討していくこととなった。

9) 専門医制度委員会報告（前田施設認定委員長）

前田施設認定委員長より専門医制度規則改正案について、資料を基に報告され、内容確認の上、修正がある場合は、前田委員長へ連絡することとなった。

なお、教育関連施設の基準見直しについては、検討内容を本年評議員会で報告することとなった。

10) 名誉会員・特別会員の推戴について

審議の結果、以下の先生方を本年度推戴候補者として評議員会に諮ることとなった。

名誉会員推戴候補者：橋本 俊先生、山崎洋次先生

特別会員推戴候補者：鎌形正一郎先生、鎌田振吉先生、島田憲次先生、林 富先生、堀本 洋先生

11) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は2013年5月29日（水）9：00～12：00京王プラザホテル本館4F けやきにて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____